

## 令和6年度 スポーツ推進課 事業報告

### 1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
市民スポーツの振興	友好都市（東海市・袋井市）ラグビー交流事業	姉妹都市の愛知県東海市とスポーツを通じた児童の交流事業を開催することで、相互の交流と親睦を深める。	1年おきに開催地を入れ替えながら、2年1種目を原則とした交流試合の開催に対する補助金を交付。 今年度交流は、4年に1度の休みとなっている。 R7においては、当市から東海市に中学生を派遣し、競技種目は中学バドミントンに決定している。 随行含め、30名での派遣を想定。
	【成果と課題】 令和7年度事業予算を要求中		
将来を担う人材の育成	ラグビーによる人材育成事業	ラグビーという地域資源を活用し、将来を担う人材を育成するとともに、競技の普及促進を図る。	児童・生徒を対象としたラグビー教室の開催。 〔時期〕 通年 〔実施場所〕 釜石鶴住居復興スタジアム／市民体育館／各学校
	【成果と課題】 スタジアム及び市内小中学校でのラグビー体験教室や座学を実施し、人材育成を図ったほか、小学校や中学校特設ラグビー部への指導を随時実施したことで、R6 岩手県中総体ラグビー競技大会において、釜石市内中学校が優勝・準優勝・3位の成績を残した。R6年度ラグビーのまち釜石教室 9件 462人		

### 2. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第15回かまいし仙人峠マラソン大会	仙人峠の地理的特徴を活用した、箱根駅伝に匹敵する難関マラソン大会の開催により、甲西地区のにぎわい創出やスポーツによる活性化を図る。	これまでは、全国から募集をし、前夜祭も含み盛大に実施していたが、コロナ禍により県内在住の方のみを対象として大会規模を若干縮小し開催。 〔時 期〕 10月27日(日) 〔場 所〕 旧釜石鉱山事務所周辺 〔コース〕 峠コース(16.9Km) 〔部 門〕 男女年齢別 6部門 〔対 象〕 大会当日満 16 歳以上の男女 〔参 加〕 122名(136申込)
	【成果と課題】 当大会は10月の最終日曜日開催としているが、数年前より盛岡シティーマラソン開催と重複してしまうことがあり、参加者の取り合いとなってしまっている。今年においては参議院補欠、衆議院選挙が重複したことにより参加者減が進んでしまった。抜本的な開催や事業運営の見直しが必要と考えられる。長年継続しているスポーツイベントであり、市外からの参加によって地域の活性化も図られていることを踏まえ、今後の開催方法について再検討する必要がある。		
市民スポーツの振興	富山県朝日町ビーチボール交流事業	友好都市である富山県朝日町で開催される「全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。	友好都市である富山県朝日町で開催される「第41回全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。 〔時 期〕 9月7日(土) 8日(日) 〔場 所〕 朝日町文化体育センター サンリーナ 〔大会名〕 第41回全国ビーチボール競技大会 〔参 加〕 釜石市ビーチボール協会より

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			3チーム参加
<p>【成果と課題】            今回は3チームで参加したが、上位成績を残すことは出来なかった。年々参加者を募ることに苦労されているとのことで、同競技の抜本的な普及啓発に取り組むことが必要と考える。</p>			

### 3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第50回釜石健康マラソン大会	スポーツに親しむ機会の創出と、健康増進の意識向上を図る。	市民参加型年齢別のマラソン大会を開催する。 〔時期〕 10月12日(土) 〔場所〕 釜石鶴住居復興スタジアム 〔種目〕 ①マラソン 5 km、5 km(UD)、3 km、2 km 1.15 km 400m(幼児の部) ②リレー 100m×4 〔部門〕 男女年齢別 21 部門 〔対象〕 参加希望者(年齢・性別等不問) 〔参加〕 272名
<p>【成果と課題】            市内児童を中心に、272名の参加により開催した。コロナ禍、少子化の影響により年々参加が減少傾向にあったが、コースを増やすなど、魅力ある内容にすることでここ数年は減少することなく一定の参加を推移している。今後も新たなコース選定に取り組むなど、ランナーにとって楽しめるマラソン大会としたい。</p>			
	ラグビーメモリアルイベント開催事業	ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承と、「ラグビーのまち釜石」の定着及び情報発信を行う。	1. 釜石絆の日開催事業 ラグビーの試合の開催及び子どもたちの交流事業など (1)時期 9月21日(土)~22日(日) (2)場所 釜石鶴住居復興スタジアム 2. ラグビビッグドリーム事業 釜石シーウェイブス RFC の試合を中心としたイベントの実施 (1)時期 10月13日(日) (2)場所 釜石鶴住居復興スタジアム
<p>【成果と課題】            ラグビーワールドカップ2019大会のレガシー継承として次のメモリアルなイベント開催を実施することができた。            1. ラグビビッグドリーム事業            メモリアルマッチとして、釜石シーウェイブス対日野レッドドルフィンズの試合、中学校特設ラグビー部交流戦の開催            ・うのスタフードコーナー、ラグビーのまち釜石教室、震災復興支援働く自動車展、桜舞太鼓、うのスタ餅まきほか 来場者：2,885名(無料試合)            2. 釜石絆の日開催事業            9/22には絆マッチとして、いわて釜石ラグビーフットボールクラブ 対 流通経済大学ラグビー部の試合のほか、絆ジュニアマッチとして釜石シーウェイブスアカデミー対静岡ブルーレヴズラグビースクールの交流戦を開催、グラウンド外では、「釜石まんぷくフェス2024」、震災復興支援働く自動車展を開催した。来場者：約950名(入場無料・雨天決行)            また、9/21には、絆の日関連事業として、うのスタ本格ライブコンサート初開催となる、スターダスト☆レビュー「うのスタ・スペシャルライブ」を実施した。 来場者：約1500名(入場有料*雨天決行)</p>			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
市民スポーツの振興	健康づくりによる復興コミュニティ形成支援事業	ニュースポーツや軽体操など、高齢者を中心に誰でもできる運動を指導することにより、市民の身体健康維持増進と、ストレスの軽減や、生きがいづくりへの支援、ひきこもりの防止など、こころの健康維持増進を図る。	市民の健康増進、健康長寿を目的に運動体力維持活動支援策としてニュースポーツ等を取り入れた健康教室を市内各地で実施。 〔時期〕 通年 〔場所〕 復興住宅・各地区公民館ほか 〔対象〕 地域住民 〔参加結果〕 228回 2,277人 (R6.4.1~9.30)
	【成果と課題】 今年度に入り、市内のコロナ感染が拡大したが、防止策を徹底し事業に取り組むことができた。各地区での参加が固定化しつつあることから、魅力ある事業に更に組み立て、幅広く新規参加を伸ばし健康長寿に繋げていきたい。		
	第6回釜石市公民館対抗ニュースポーツ交流大会	ニュースポーツを通じて市民の健康維持増進への関心を高めてもらうことや、他地域のとう交流の場を創出するもの。	市民へのニュースポーツ普及や健康増進を推進することを目的として、8地区公民館対抗でのニュースポーツの大会を開催。 【内容】 1地区公民館から15名程度でチームを構成し4種目のニュースポーツ対抗戦を行い、交流と親睦を深める。 〔時期〕 12月7日(土) 〔場所〕 市民体育館
	【成果と課題】 これまでの大会は市内在住の18歳以上としていたが、ほぼシルバー世代の参加で、高齢者のスポーツ大会となっていた。このままでも充分事業は成立しているがもっと参加者やスタッフで楽しむべく小学児童の参加を入れるべく調整中。 昨年度から、新たな競技種目として「ポッチャ」も取り入れている。		

#### 4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
関係団体との連携	釜石市体育協会補助金助成事業	市内各競技団体及びスポーツ少年団本部を通じての、競技団体の連携による活動の活性化を図る。	釜石市体育協会の運営支援として事業費及び人件費等を補助する。
	【成果と課題】		
	各種スポーツ団体大会等助成事業	県大会規模以上のスポーツ大会の誘致を促進して交流人口の拡大を図る。また、全国で行われるスポーツ大会に参加し釜石市のPRと市民のスポーツ向上に寄与する。	釜石市体育協会及び釜石市体育協会への加盟団体、大会実行委員会、各種競技団体が行うスポーツ大会に要する経費に対し、補助金を交付する。 【主な助成事業】 ・釜石はまゆりトライアスロン国際大会 中止 ・釜石オープンウォータースイミング大会 開催日：8月4日(日) 参加者数：267人
【成果と課題】 代表的な補助事業とした釜石 OWS は、岩手国体後、継続的に実施しており日本水泳連盟認定大会サーキットにも指定されている大会で、年々参加者も増加し併せて知名度も上がっている。全国各地からの参加もあり、スポーツを通じて地域活性化の一助を担っている。			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	その他は、各種大会の開催などに対して、大会運営費の補助を行うことで、各種大会環境の負担軽減に努めることができている。		
スポーツ情報の提供	スポーツ情報提供事業	スポーツに関する情報発信を行うことで、各種事業の参加拡大や生涯スポーツへのきっかけづくりを図る。	市ホームページへの記事掲載、体育施設等への掲示、各種催事の報道機関への情報提供等を行う。 〔時期〕 通年 〔対象〕 一般市民ほか
【成果と課題】 各種大会やイベントの告知として市HPを活用して広く情報を発信できた。ラグビーにおいては、YouTubeにより、SWの試合中継や児童をはじめとし幅広くスタジアムの紹介や事業の取り組みをPRできた。			

### 中学部活動の地域移行に係る現状

部活動の地域移行において、学校部活・児童及び父兄の意向等については学校教育課で調整を図り、地域の受皿となる地域の指導者や少年団等の調整は当課で対応するものとして役割分担を明確化し教育委員会との連携の下取り組んでおります。

昨年度は、スポーツ推進委員、中体連、中文連、PTAの方々を委員とした推進協議会を発足し、現状の把握とこれからの部活の在り方を探るべく、民間指導者を含めたワーキングも開催し最終的には、移行が可能な協議から順次進めるものとしたものです。

今年度は、スイミングを完全移行とし、柔道・剣道は中学校への講師派遣で対応し、順次移行に向けて進めるものとしております。その他の競技においては生徒の意向確認、受け皿の環境整備を整えた上で徐々にスライドすることとなっておりますが、現状解決しなければならない課題が多い状況となっております。

なお、受け皿である指導者の確保について対応すべく、当課として以下のとおり新年度事業として取り組む予定としております。

【20240701 釜石市中学校長会議資料】

#### 1. 各種スポーツ競技協会での部活動地域移行での受け入れに係るアンケート結果（R5.6 実施）

○アンケート案内：38 協会

○アンケート回答：16 協会（回答率 42%）

結果抜粋

設 問	は い	いいえ	未回答
地域移行の概要を知っているか？	81%	13%	6%
協会では中学チームを構成しているか？	2%	88%	
協会では中学外部コーチを派遣しているか？	19%	81%	
地域移行を協会では受け入れ可能か？	31%	63%	6%

## 2. 釜石市スポーツ少年団本部について

- 登録団体 20 団体／指導者数 83 人／団員数 339 人 (R6)
- 登録団で中学生を受入れている団体 9 団体／空手・剣道・柔道・野球・ソフトテニス
- 少年団本部から各登録団へのサポートは、各種上位大会出場の際に補助金を支出

## 3. 受入側の課題

各種協会のアンケートでは、指導者不足により受入れ不可との回答が多かった。また、スポーツ少年団では指導者はいるものの、ほぼ小学生対象の団となっている。

部活動地域における当市の現状では、各種協会への協力はアンケート結果により現実的ではなく各種スポーツ少年団に協力してもらうことが的確と思える。しかしながら日本スポーツ少年団に加盟している少年団では、JSPO のスタートコーチの資格や、その後のコーチ 1 コーチ 2 の受講資格取得が条件となっており安定した指導者の確保が課題となってくる。

## 4. 課題対応策

現在当市において、各種少年団に約 80 名の指導者がいるが、指導者としての育成養成を継続的にサポートし、児童スポーツの活動の場の環境整備や、中学部活動の地域移行による地域スポーツクラブでの受け入れ体制を強化するためにも、指導者として必要な各種講座の受講料を補助し、指導者個人の負担軽減に努め、継続的な指導者の立場の環境を整える対応が必要と考える。

## 5. 具体案

- 釜石市スポーツ少年団等指導者活動支援補助金（案）

補助額 1 団体 50,000 円とする（補助率 10/10）

積算根拠 ・スタートコーチ：5,500 円

・コーチ 1：受講料 15,400 円 専門科目 15,400 円 計 30,800 円

・コーチ 2：受講料 17,600 円 専門科目 11,000 円 計 28,600 円

合計 64,900 円

以上のとおり、単位団 1 名の指導者育成においても、約 65,000 円の受講料を要する。日本スポーツ少年団からは、単位団に 2 名のコーチ配置を条件とされていることから約 13 万円の指導資格取得に係る経費が必要となっている。

## 6. 今後の予定

- R7 度当初予算に盛り込むべく、新たな事業として新年度事業として予算を要求。
- 予算要求額は 1,000,000（@50,000×20 団体）
- 予算委員会で可決された後に直ちに補助金要綱を作成する。（R7.3 中）
- 各種団体へ個別周知する他、市 HP でも掲載を予定（R7.4 中）